

平成29年度山形応援寄付金（ふるさと納税）の活用について（ご報告）

1 平成29年度の寄附件数・金額

全国各地の皆様から、**5,683件、184,791,008円**のご寄附をいただきました。皆様の山形を応援してくださる温かい想いに、改めて感謝申し上げます。

2 具体的な取組への活用状況

寄附金は寄附者の皆様が選択された寄附の使い道をもとに第3次山形県総合発展計画短期アクションプラン（平成29年度～平成32年度）の7つの分野の取組みに活用させていただきました。

(1) 郷土愛を育み未来を築く子育て支援・多彩に活躍する人づくり

社会全体で子育てを応援する取組みや放課後児童クラブの利用料支援、若者の地元定着・地元回帰のため郷土愛を醸成する教育活動の展開への支援を行う事業等に活用しました。

活用額:50,885,286円



子育てサロン開催の様子

(2) いのちと暮らしを守る安全安心な社会の構築

健康長寿日本一の実現に向けた健康づくりの取組みや県民みんなで取り組む「がん対策県民運動」の展開、地域の医療機能強化、防犯ボランティア団体の活動支援などの安全で安心なまちづくりの推進のための事業等に活用しました。

活用額:25,762,294円



新庄市防犯協会の活動の様子

(3) 新たな価値の創造・拡大・発信による活力ある産業の集積

地理的表示（GI）の指定を受けた日本酒をはじめとする県産品のPR等の「メイドイン山形」ブランドの国内外への発信や新たな奨励金制度の創設等により若者を中心とした非正規雇用労働者の正社員化などを総合的に支援する事業等に活用しました。

活用額:18,327,285円



(4) 地域の豊かさを支え、高いブランド力で国内外に展開する農林水産業

県産米のブランド化の推進や県産農産物の国内外への販路開拓・拡大と物流体制の構築を一体的に進める事業等に活用しました。

活用額:30,119,286円



台湾・台北市における山形県フェア

(5)世界に誇る山形の魅力を発信し国内外の旺盛な活力を引き込む「観光立県山形」の確立

精神文化や食・温泉などの本県の魅力を国内外へ発信する観光誘客拡大の取組みや高齢者や障がい者、外国人など誰もが快適に本県での観光を楽しめる環境整備を支援する事業等に活用しました。

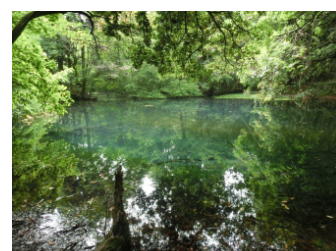
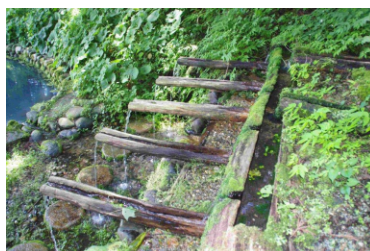


温泉旅館浴室のバリアフリー化

活用額:22,212,286円

(6)再生可能エネルギーによる産業振興と地域活性化、国内外に誇れる優れた環境資産の保全・創造・活用

家庭・事業所における太陽光や木質バイオマスなどの再生可能エネルギー設備導入促進のための事業や、本県の優れた湧水を「里の名水・やまがた百選」として選定し、地域活性化に活用するための事業等に活用しました。



里の名水・やまがた百選 左：朝日町 五本樋 右：遊佐町 丸池様

活用額:19,787,286円

(7)地域活力と多様な交流を生み出し災害に強い県土基盤の形成

自然災害から県民の命と暮らしを守るための河川・砂防施設の整備や交通ネットワーク形成のための道路整備事業等に活用しました。



吉野川災害復旧等関連緊急事業
「三間通工区」完成 平成30年3月



主要地方道 大石田畑線
「亀井田橋」開通 平成29年11月

活用額:17,697,285円

3 平成30年度山形応援寄付金（ふるさと納税）のお願い

山形県では、平成30年度も引き続き、山形応援寄付金についてご協力をお願いしております。ご寄付いただいた金額に応じて、旬の農産物・海産物や工芸品等の山形ならではの県産品をお贈りしておりますので、是非、本年度も山形応援寄付金（ふるさと納税）をご検討いただければと存じます。

また、本年度より、「山形県を応援したい」という寄附者の皆様の想いにより応えるため、あらかじめ用途を示し、特定の事業への寄附を募集する「用途明示型ふるさと納税」の受付も開始しております。ふるさと山形を応援するため、「用途明示型ふるさと納税」につきましても、併せてご検討いただければ幸いです。

【ご注意:用途明示型ふるさと納税については、いただいた寄附をできるだけ指定の用途へ充当するため、返礼品のご用意はありません。ご寄付いただいた方には、お礼状のみ、又はお礼状と併せてささやかですがプロジェクトに関連したものをお送りします。詳細については、別添カタログの5ページをご覧ください。】

今後とも山形県をよろしく申し上げます。